

令和 8 年 第 2 回 定 例 会 土 木 建 築 委 員 会 資 料

1 合 議 案 件

第 6 7 号 議 案	大分県使用料及び手数料条例の一部改正について（大洲総合運動公園使用料の改正）	2
-------------	--	---

2 付 託 案 件

第 6 4 号 議 案	令和 8 年度大分県一般会計補正予算（第 1 号）	3
第 7 6 号 議 案	損害賠償請求に関する和解をすることについて	5
第 7 7 号 議 案	工事請負契約の締結について （大分スポーツ公園総合競技場ワイヤー更新工事）	6

3 県 内 所 管 事 務 調 査 の ま と め

建設産業の担い手確保の取組について	7
-------------------	---

4 諸 般 の 報 告

① 令和 7 年度予算の繰越について	9
② 県営住宅の管理代行について	10
③ 「豊ちゃく 2026」について	11
④ 一般国道 212 号 1 号トンネル避難坑工事（2 工区）の進捗状況について	14
⑤ 庄の原佐野線街路改築工事（第 3 橋梁上部工）の進捗状況について	16
⑥ 港湾脱炭素化推進計画（案）について	18
⑦ 九重町松木五分市地区の土砂崩れについて	19

令和 8 年 6 月 22 日
土 木 建 築 部

第67号議案 大分県使用料及び手数料条例の一部改正について (大洲総合運動公園使用料の改正)

【公園・生活排水課】

1 現状・経緯等

■大洲総合運動公園硬式野球場の供用開始（S55. 6）～暖房機能付加（H18. 3に竣工）

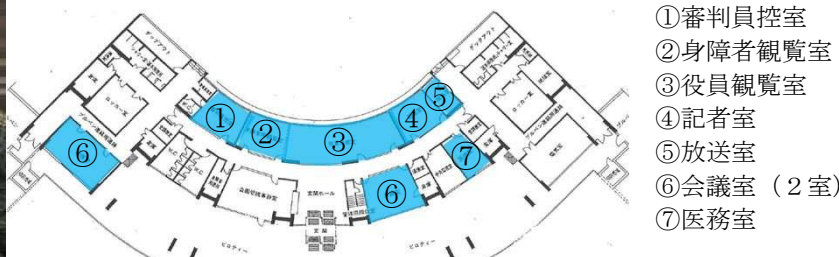
- ・硬式野球場（別大興産スタジアム）において、グラウンド等のほか冷房設備の使用料を供用開始時に大分県使用料及び手数料条例に規定（現行料金：920円/時間）
- ・県が実施した空調設備更新工事により、暖房機能を新たに付加
→大分県使用料手数料条例への追加なし

■令和7年度財政的援助団体等監査及び臨時監査での指摘（R8年3月24日公表）

- ・指定管理者であるファビルス・プランニング大分共同事業体が硬式野球場の暖房使用に関して、冷房設備の規定に基づき使用料を徴収しており、指定管理に係る適切な事務処理等の徹底について指摘

（過去5年間の暖房利用状況）

年度	利用団体数	利用日数	利用時間数	施設の活用内容
R3	2	9	49	・プロ選手自主トレ及び野球教室 45日 ・少年野球試合 7日 ・動画制作 2日 ・小学校遠足 1日
R4	3	12	52	
R5	2	6	28	
R6	4	15	101	
R7	3	13	83	
合計	14	55	313	合計55日



2 使用料改正（案）

■一部改正の考え方

- ・監査の指摘を踏まえ、また硬式野球場の冬季の利用促進及びスポーツ振興を図るため、暖房設備を定める

【現 行】

区分	単位	金額
冷房設備	1時間	920円

【改正(案)】

区分	単位	金額
冷暖房設備	1時間	920円

■設定金額の考え方

- ・同公園敷地内の市営体育館や県立フェンシング場、県内の主な市営野球場の考え方に合わせ、冷房と暖房を同一料金とする。

■施行日

- ・公布の日

(第64号議案) 令和8年度大分県一般会計補正予算(第1号)の概要(土木建築部)

1 補正予算額

(単位:千円)

区分	款 別	既決予算額	今回補正予算額	補正後現計額
一般会計	土 木 費	83,485,142	25,561	83,510,703
	そ の 他	14,469,951	0	14,469,951
	計	97,955,093	25,561	97,980,654
	内 訳	公 共 事 業	0	66,779,411
		一般公共	0	43,930,701
		災害関連	0	2,748,636
		直轄負担金	0	4,774,880
		住 宅	0	1,756,156
		災害復旧	0	13,569,038
		非公共事業	25,561	31,201,243

2 補正事業一覧

(単位:千円)

事業名	今回補正予算額
県営都市公園施設整備事業費	25,561

令和8年度一般会計6月補正予算案（第1号） 土木建築部関係抜粋

8	県産食材県内消費拡大緊急対策事業	(0) 177,000 177,000	県産食材の認知度向上と県内消費拡大を図るため、食材費高騰の影響を受けている学校給食での県産農林水産物の購入経費を助成するとともに、出前講座等を実施する。	おおいたブランド推進課
---	------------------	---------------------------	--	-------------

（2）宿泊税の導入など更なる観光振興

（単位：千円）

	事業名	予算案	事業の概要	所管課
9	新 宿泊税導入支援等環境整備事業	(0) 667,536 667,536	宿泊税の円滑な徴収環境を整備するため、特別徴収義務者である宿泊事業者が行うシステム改修等を支援するとともに、宿泊者に対する制度周知等を実施する。 ・宿泊税対応に向けた既存レジシステム等の改修に要する経費への助成 補助率 10/10 限度額 200万円 ・省力化に向けた新たなレジシステムの導入等に要する経費への助成 補助率 通常枠 2/3 賃上げ枠 3/4 限度額 通常枠 300万円 賃上げ枠 340万円 ・宿泊税に関するコールセンターの設置 ・宿泊者向け周知啓発リーフレットの作成・配布 など	観光政策課
10	県税システム改修事業	(79,530) 47,798 127,328	宿泊税の導入に対応するため、県税総合情報管理システム等の改修を行う。	税務課
11	税務業務アウトソーシング推進事業	(56,296) 15,567 71,863	宿泊税の円滑な申告納入環境を整備するため、納入申告書の作成や申告情報の入力業務等を民間委託する。 〔債務負担行為 73,306千円〕	税務課
12	県営都市公園施設整備事業	(34,232) 25,561 59,793	県営都市公園ハーモニーパーク周辺の渋滞を緩和し、利用者の利便性向上を図るため、指定管理者が行う車両ナンバー読取機の設置など駐車場入場ゲートの改修工事等に要する経費の一部を負担する。	公園・生活排水課

第76号議案 損害賠償請求に関する和解をすることについて

土木建築部
土木建築企画課

《事案の概要》

- 日時：令和6年8月5日 午前10時36分頃
- 場所：大分県宇佐市大字四日市503番地 セブンイレブン宇佐四日市店先路上
- 加害者：宇佐土木事務所職員（当時59歳）
R7.3月：在宅起訴（罪名：過失運転致死）
R7.8月：罰金刑確定（100万）➢ R7.9月：懲戒処分（減給4月、10分の1）
- 被害者：高齢女性（83歳）

当該職員が公用車を運転して現場業務後に立ち寄ったコンビニエンスストアの駐車場から道路に進入しようとした際、被害者の乗った自転車と衝突し、4日後に被害者が脳ヘルニアで亡くなったもの

《訴訟の概要》

- 原告：被害者遺族（長女、長男）
- 訴状提出：R7.8.22に原告代理人弁護士が福岡地方裁判所に訴状を提出
- 請求内容：①損害賠償金26,787,144円 ②弁護士費用等2,678,714円
③遅延損害金（事故発生日から支払完了日まで①に対する年3分の割合）
- 県の弁論姿勢：適正額を十分に検討し、裁判所の判断を経たうえで賠償金額を決める

車道

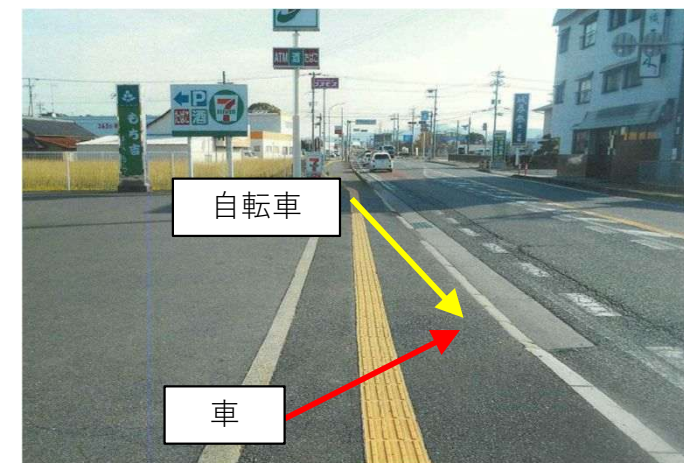
歩道（自転車通行可）



②車道に合流しようとして自転車と衝突

①車が途切れるまで待機

コンビニ敷地



《双方の主張と和解案の比較》

- 和解案：R8.2.27に福岡地方裁判所から提示
➢ **解決金 20,500,000円**
- 解決金：自賠責及び県公用車の任意保険にて対応（県費負担はゼロの見込み）

和解案は裁判所から双方の主張を踏まえたうえで提示されたものであり、県費負担の観点からも、提示された内容で和解したい

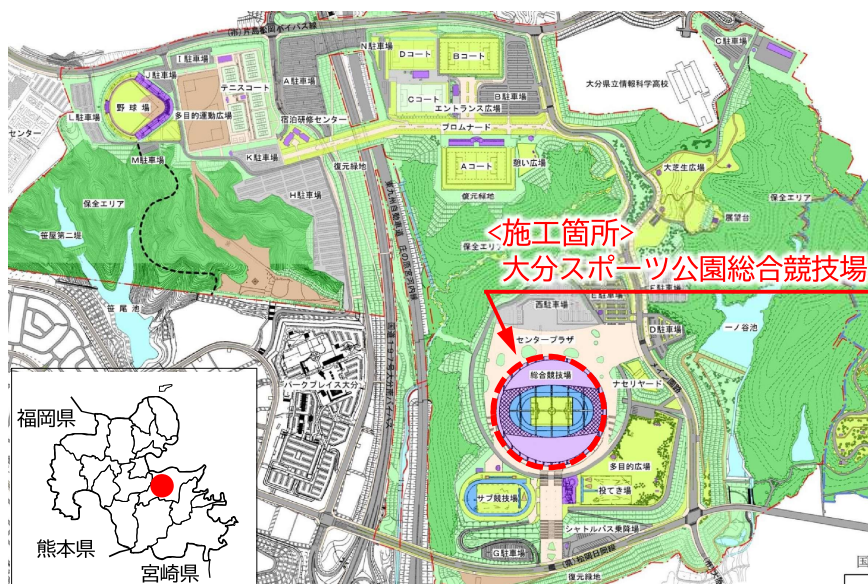
項目	原告主張	和解案	被告主張
損害賠償請求の総額	49,980,811円	39,496,930円	34,717,024円
自賠責で支払い済みの額	△18,980,380円	△18,996,930円	△18,996,930円
解決金（未填補損害額）	31,000,431円	20,500,000円	15,720,094円
①うち損害賠償額	26,787,144円	20,500,000円	14,154,697円
②うち弁護士費用等	2,678,714円		0円
③うち遅延損害金	1,534,573円		1,565,397円

第77号議案 工事請負契約の締結について（大分スポーツ公園総合競技場ワイヤー更新工事）

事業概要

- ◆事業箇所：大分スポーツ公園 大分市大字横尾
- ◆事業目的：ワイヤーロープの老朽化に伴い、令和6年6月から開閉を停止している大分スポーツ公園総合競技場の開閉式屋根について、老朽化したワイヤーロープの更新を行い、開閉機能の復旧を図る。

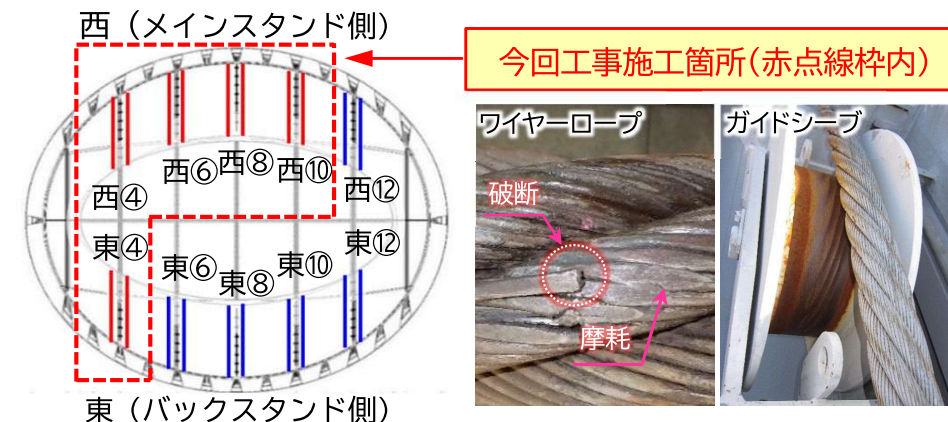
位置図



発注工事内容

- ◆工 事 名：令和7年度 都公長中施第235-1号 ドームワイヤー更新工事
- ◆工事概要：大分スポーツ公園総合競技場
屋根駆動装置のワイヤーロープ更新 一式
ワイヤーロープ 10本
ガイドシブ 160台
- ◆契 約 金 額：2,631,200,000円（税込）（落札率：99.9%）
- ◆工 期：契約締結の翌日～660日間
- ◆契約の方法：要件設定型一般競争入札（総合評価落札方式）
- ◆契約の相手方：竹中・森田特定建設工事共同企業体

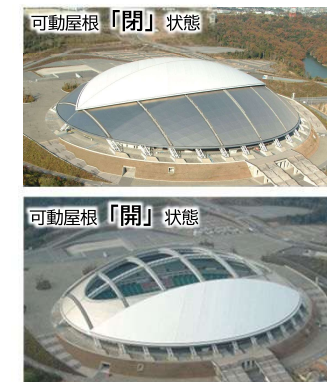
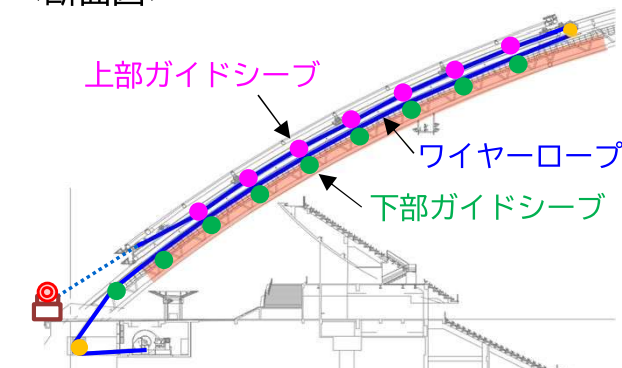
<平面図>



工程表

内 容		2025 (R7)		2026 (R8)		2027 (R9)		2028 (R10)	
		10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月
工 事	工事入札・契約			3/12入札公告 4/30開札 5/15仮契約 6/26第2回定例会閉会・本契約予定					
	材料製作								
工 事	更新工事								
契約金額		2026 (R8)		2027 (R9)		2028 (R10)			
		2,631,200,000円		908,300,000円		1,151,920,000円		570,980,000円	

<断面図>



(1) 産・学・官の連携による推進体制

実施主体	BUILD OITA	本庁		各土木事務所
内容 対象	おしごと教室 バスツアー等 	現場体験学習会 	Buildy出前講座 	ときめき 土木未来教室 
小学生	○			○
中学生	○			○
高校生 (工業系学科)	○	○	○	
高校生 (普通科、商業科等)			○	
大学生			○	

BUILD OITA : 産学官が連携して人材の確保育成を支援する組織（建設技術センター、建設業協会、県内工業系高校など35団体が加入）

Buildy : 建設産業における女性人材の確保・活躍を推進する事業（事業の一つとして、県内20の高校等で出前講座を実施）

土木未来教室 : 土木建築部が県内の小中学生を対象に開催している地域貢献・教育活動

建設産業の担い手確保の取組について

【土木建築企画課】

(2) 各地域の取組(例)

大分土木事務所

○インターンシップ・現場見学会



○BUILDOITA連携出前講座



佐伯土木事務所

○土木フェスタin佐伯



○土木未来教室 防災教室



中津土木事務所

○女子生徒向け 建設現場体験学習会

中津東高校女子生徒



○土木未来教室 中津日田道路



宇佐土木事務所

○建設コラボインターンシップ



- ・大分大学、日本文理大学の学生対象
- ・宇佐市内の建設会社、コンサルタント、宇佐土木が共同で開催。
- ・地域を支える建設産業の担い手確保のため5日間で
計画～測量・設計～積算～施工
までを1度に体験してもらう。
(例) 官公庁の役割、現地測量、
CAD操作、現場での施工体験、
重機デモ体験など
- ・両大学と協議を重ね、今年度初開催。
(令和8年9月実施予定)

令和7年度予算の繰越について

(単位:千円)

		一般会計								特別会計				合計	
		公共事業				単独事業		一般会計 小計		臨海工業地帯建設事業		港湾施設整備事業			
		事業数	一般公共等	事業数	災害復旧	事業数		事業数		事業数		事業数		事業数	
繰越明許費（確定額）	R6	31	41,431,980	2	9,246,253	25	6,184,445	58	56,862,678	0	0	1	904,000	59	57,766,678
	R7	30	40,031,450	2	4,754,729	29	7,153,659	61	51,939,838	0	0	1	1,060,000	62	52,999,838
事故繰越	R6	3	544,810	1	1,581,195	0	0	4	2,126,005	0	0	0	0	4	2,126,005
	R7	3	4,036,280	1	794,050	0	0	4	4,830,330	0	0	0	0	4	4,830,330

県営住宅の管理代行について

公営住宅室

1 公営住宅の管理の現状

県営住宅(8,590戸)及び共同施設(駐車場・集会所・児童遊園等)の管理

・H18年度から大分県住宅供給公社が指定管理者として管理

・H26年度から同公社が管理代行者として管理

H18～H20	H21～H25	H26～H28	H29～R3	R4～R8	R9～R13
指定管理 (第1期)	指定管理 (第2期)	管理代行 (第1期)	管理代行 (第2期)	(現行) 管理代行 (第3期)	(次期) 管理委託

2 指定管理制度と管理代行制度の違い

業務内容	指定管理	管理代行
入居者の募集	○	○
入居者の決定	×	○
清掃・修繕等の維持管理業務等	○	○
入居承継・同居の承認	×	○
模様替え・増築に係る承認	×	○
高額所得者等に対する明渡し請求等	×	○

3 管理代行導入による効果

(1) 事務処理の迅速化・効率化

- ・入居者の決定、同居・承継承認、模様替え・増築等の承認日数の短縮
導入前 4～9日 → 導入後 2～5日
- ・多様な要望・相談等に対して専任職員を配置
R7年度要望・相談件数 → 2,309件

(2) 入居者サービスの向上

- ・単身入居者(65歳以上高齢者及び障がい者)への見守り訪問を毎月実施
R7年度 延べ 18,016回実施
- ・県営住宅と市営住宅の募集窓口一本化等による総合的な情報提供
- ・入居者のマインバ-利用による手続きの簡素化、各種手続きの電子化の推進

(3) 行財政改革の効果

- ・使用料収入の収納率向上(現年度分)
導入前 99.66% → R4=99.94%、R5=99.98%、R6=99.94%

4 住宅供給公社による公営住宅の管理状況

	R8年度現在	備 考
市営住宅(12市)の管理戸数 ※大分市、別府市、中津市、佐伯市、臼杵市 竹田市、豊後高田市、杵築市、豊後大野市 由布市、津久見市、国東市	12,608戸	県内市町村営 住宅の約7割
県営住宅の管理戸数	8,590戸	
合 計	21,198戸	公営住宅の約8割

5 次期管理の方針

施設名	管理方法	管理者名	指定期間
県営住宅等	管理代行	大分県住宅供給公社	5年間(R9年度～R13年度)

6 次期管理代行の目標指標

目標指標名	管理方法	目標値設定の考え方	現行の目標値	実 績
①現年度家賃 収納率	①現年度家賃 収納率 ⇒99.95%	①R4～R6年度の3か年平均 (99.95%)を維持する。	収納率 99.96%	収納率 99.95%
②入居率	②入居率 ⇒80.0%	②九州各県のR6末平均入 居率80.0%を参酌し、直近 入居率78.0%(R8.3月末) を基に、毎年0.4%向上。	入居率 —	入居率 —
③利用者満足度	③利用者満足度 ⇒94.0%	③R4～R6年度のアンケート 結果のうち5段階評価の3 以上の評価平均(94.0%) を維持する。	満足度 91.0%	満足度 93.0%

7 今後のスケジュール

- ・管理代行に係る委託料について、第3回定例会で債務負担行為予算案を審議
- ・R9年3月末までに基本協定締結

～参考～ 管理運営に対する評価

- ・家賃の収納率がかなり高いことや独居老人等の見守りに力を入れていることは評価できる。
- ・市営住宅と県営住宅の一体管理で窓口での利便性が増したことなど、管理代行制度での取り組みの成果が現れてきている。

『豊ちゃく2026』

【道路建設課】

- ・「豊ちゃく」（豊の国ちゃくちゃくプロジェクト）は、今後5年間の道路の開通目標を示し、県民への説明責任の向上及び事業の進捗管理の徹底を図るための取り組みで、平成16年度より実施。
- ・令和7年度は「**県道栃野西大山線（中津江工区）**」、「**国道442号（宗方拡幅）**」など**31区間6.9km**が開通。
- ・令和8年度は「**国道217号（戸穴バイパス）**」、「**国道326号（小坂工区）**」など**26区間5.7km**の開通を目指す。＊部分開通を含む

“豊ちゃく2025” 達成状況

工種	令和7年度 開通目標	令和7年度内 （令和8年3月末時点） 達成状況	
		整備量	達成率
改築事業 （バイパス） （現道拡幅）	24区間	24区間	100.0%
	4.7km	5.1km	108.5%
交通安全事業	6区間	6区間	100.0%
	0.7km	1.1km	157.1%
電線共同溝	1区間	1区間	100.0%
	0.7km	0.7km	100.0%
合計	31区間	31区間	100.0%
	6.1km	6.9km	113.1%

“豊ちゃく2026” の開通目標

			令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	R8 ~ R12
改築事業 （バイパス） （拡幅）	国・ 県道	区間数	19	14	9	6	6	54
		延長(km)	4.7	4.9	2.1	1.2	1.6	14.5
	農林 道	区間数	2	1	1	0	0	4
		延長(km)	0.5	1.3	1.3	0.0	0.0	3.1
	計	区間数	21	15	10	6	6	58
		延長(km)	5.2	6.2	3.4	1.2	1.6	17.6
交通安全 事業	国・ 県道	区間数	5	5	2	1	1	14
		延長(km)	0.5	1.1	0.3	0.1	0.2	2.2
電線共同溝 事業	国・ 県道	区間数	0	0	0	0	0	0
		延長(km)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計		区間数	26	20	12	7	7	72
		延長(km)	5.7	7.3	3.7	1.3	1.8	19.8

① 県道新城山香線(梅木南工区)

整備内容: バイパス整備 **R7. 4**
 路線延長: L=1, 920m (豊後高田市梅木・田染路)
 R6迄開通: 540m、R7開通: 190m 部分開通

●整備後の状況



③ 国道442号(宗方拡幅)

整備内容: 現道拡幅 **R8. 3**
 路線延長: L=1, 665m (大分市大字上宗方～大分市大字市)
 R6迄開通: 480m、R7開通: 200m 部分開通

●整備後の状況



② 国道500号(汐見工区)

整備内容: 無電柱化 **R7. 12**
 路線延長: L=660m (別府市汐見)
 R6迄開通: 0m、R7開通: 660m 全線開通

●整備後の状況



④ 国道388号(畑野浦～楠本バイパス)

整備内容: バイパス整備、現道拡幅 **R8. 2**
 路線延長: L=7, 400m (佐伯市蒲江大字畑野浦～竹野浦河内)
 R6迄開通: 4, 444m、R7開通: 240m 部分開通

●整備後の状況



⑤ 県道栃野西大山線(中津江工区)

整備内容: バイパス整備 **R7. 12**
 路線延長: L=750m
 (日田市中津江村栃野～日田市大山町西大山)
 R6迄開通: 0m、R7開通: 750m 全線開通

●整備後の状況



⑥ 国道387号(櫛野工区)

整備内容: 現道拡幅 **R7. 10**
 路線延長: L=1, 500m
 (宇佐市院内町櫛野)
 R6迄開通: 856m、R7開通: 180m 部分開通

●整備後の状況



①国道217号(戸穴バイパス) ひあな

整備内容: バイパス整備、現道拡幅
路線延長: L=1,350m (佐伯市大字狩生～戸穴)
R7迄開通: 250m、R8開通: 1,100m 全線開通

●整備前の状況



佐伯市

③国道326号(小坂工区) おさか

整備内容: 自歩道設置
路線延長: L=960m (豊後大野市三重町小坂)
R7迄開通: 320m、R8開通: 130m 部分開通

●整備前の状況



豊後大野市

②県道梶寄浦佐伯線(吹浦工区) かじよせうらさいき ふきうら

整備内容: 現道拡幅
路線延長: L=670m (佐伯市鶴見大字吹浦)
R7迄開通: 320m、R8開通: 350m 全線開通

●整備前の状況



佐伯市

④県道神原玉来線(太田工区) こうばるたまらい おおた

整備内容: 1.5車線の道路整備
路線延長: L=900m (竹田市大字太田)
R7迄開通: 110m、R8開通: 210m 部分開通

●整備前の状況



竹田市

⑤県道飯田高原中村線(河内3工区) はんたこうげんなかむら かわち

整備内容: 現道拡幅
路線延長: L=660m (九重町大字町田)
R7迄開通: 480m、R8開通: 70m 部分開通

●整備前の状況



九重町

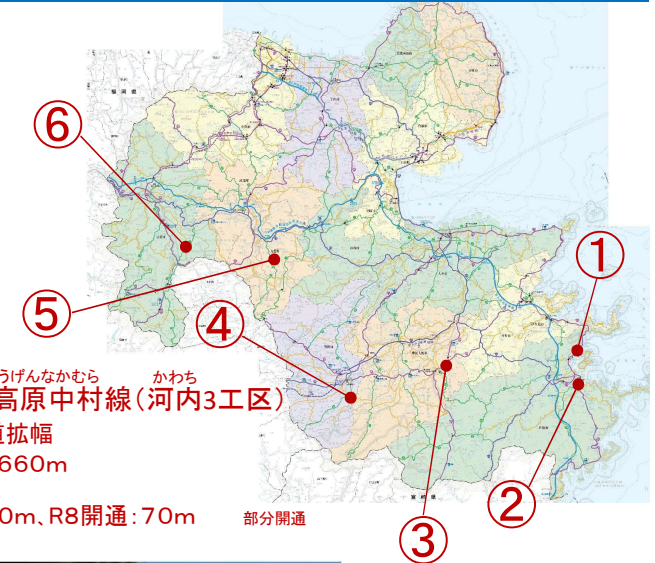
⑥県道岩戸五馬日田線(見折谷工区) いわと いつま ひた みおりたに

整備内容: バイパス整備、現道拡幅
路線延長: 1,140m (日田市天瀬町出口)
R7迄開通: 0m、R8開通: 290m 部分開通

●整備前の状況



日田市



一般国道212号(日田山国道路) (仮)1号トンネル避難坑(2工区)工事の進捗状況について

【道路建設課】

事業概要

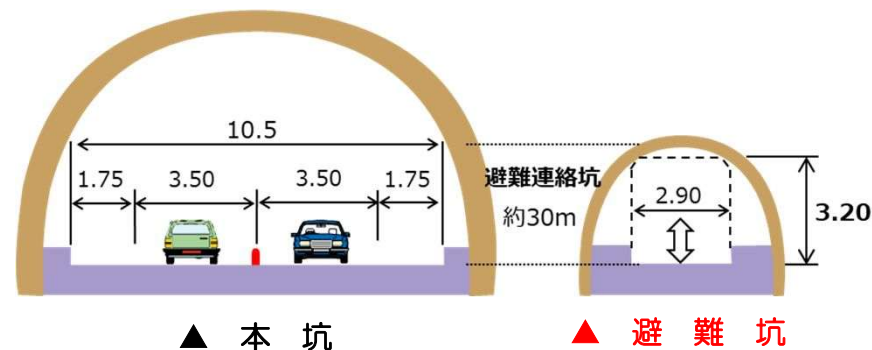
- ・事業場所：中津市山国町守実
～日田市三和
- ・延長：8,800m
- ・幅員：7.0(12.0)m
- ・事業期間：H27年度～R17年度
- ・全体事業費：49,700百万円
- ・計画交通量：13,300台/日(R22)
- ・整備効果



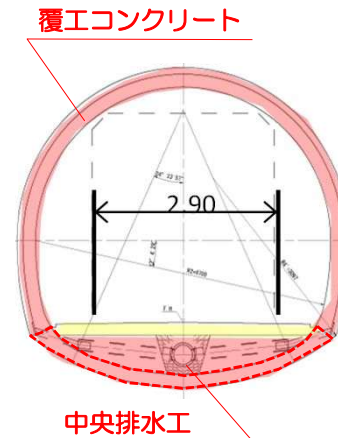
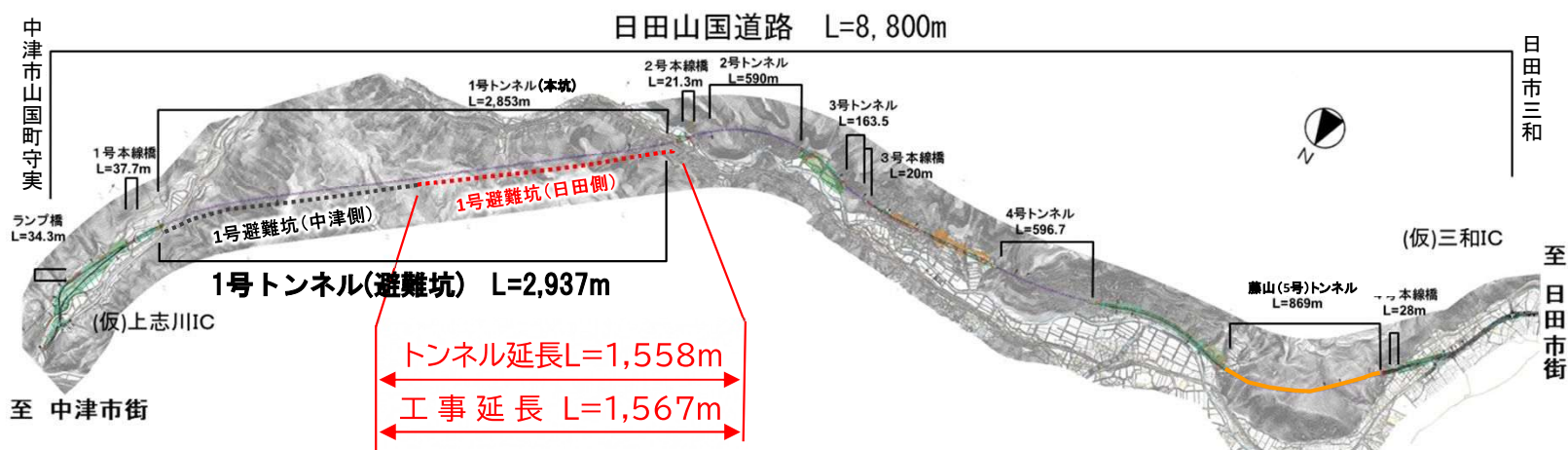
地域産業の活性化を支える効率的な物流ネットワーク
災害、冬季、事故等に対する信頼性の高い道路ネットワークの形成
高次救急医療施設へのアクセス向上

発注工事内容

- ◆工事名：令和3年度 道改国第2-2号 道路改良工事
〔(仮)1号トンネル避難坑(2工区)〕
- ◆工事延長：L=1,567m(トンネル延長L=1,558m)
- ◆幅員：W=2.9m
- ◆設計金額：3,789,769,500円(税込)
- ◆工期：令和4年3月26日～令和9年9月22日限り
- ◆工事概要：トンネル本體工 L=1,558m、インバート工 L=1,138m、
坑門工 N=1式
- ◆受注者：西松・佐伯・野村特定建設工事共同企業体



平面図・横断図



一般国道212号(日田山国道路) (仮)1号トンネル避難坑(2工区)工事の進捗状況について

【道路建設課】

工事実施状況 (令和8年4月末時点)

進捗率 約98% 【掘削完了(R7.9)[1,558m]、中央排水工[1,342m/1,563m]

主な変更内容 約14億7千万円の増額

① 湧水への対応による増額 (+17億7千万円)

①-1 突発湧水による、切羽の一部崩落に対し、水抜きボーリングや補強対策を追加したことに伴う増額。(+10億4千万円)

①-2 周辺井戸の水位低下に対する給水運搬・ポンプ下げ等の湧水対応に伴う増額。(+3億2千万円)

①-3 当初想定を超える湧水量への対応として、濁水処理設備を増設したことに伴う増額。(+4億1千万円)

突発湧水発生、切羽一部崩落状況



▲ ①-1 突発湧水対策

突発湧水対策状況



▲ ①-2 湧水対応

400m3/h設置状況



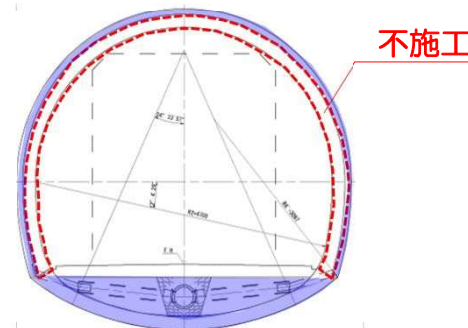
▲ ①-3 濁水処理施設増設

② 覆工コンクリート不施工による減額 (-6億2千万円)

避難坑の覆工については湧水が少ないなど地山状況が良好な場合は省略が可能であるが、その要否を判断するにあたり湧水量の変化等を継続観測する必要があるため、本工事の覆工コンクリートを減額したい。

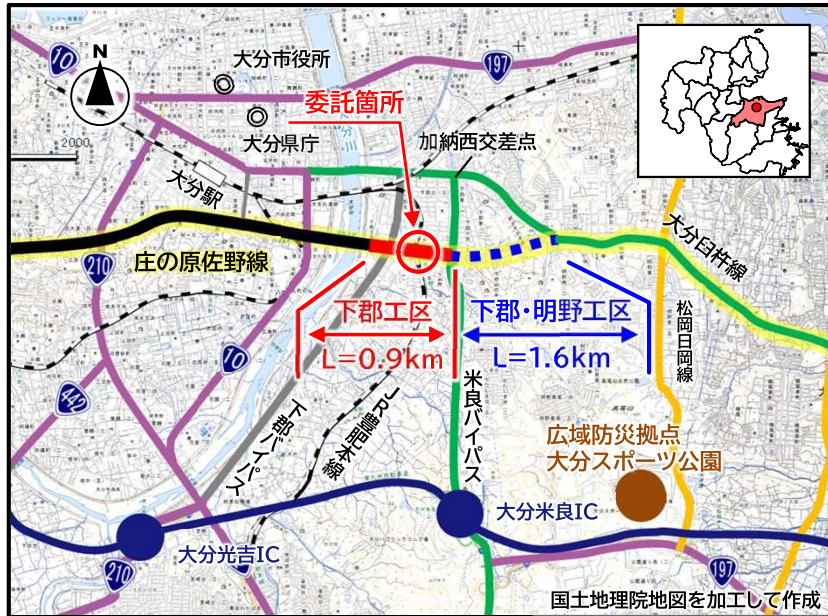
③ インフレスライドによる増額 (+3億2千万円)

工期内の労務単価や資材費の変動に対処するため、公共工事請負契約約款に規定するインフレスライド条項を適用したことによる増額。



▲ ② 覆工コンクリート不施工

位置図



委託内容

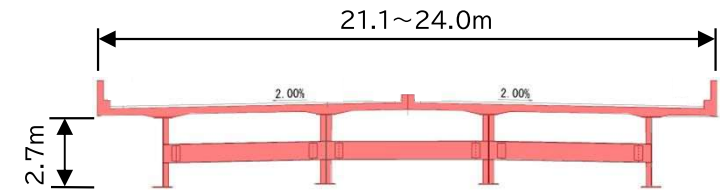
- ・ 委託の概要：下郡高架橋上部工架設工事
L=54.0m、W=24.0m
- ・ 契約金額：（当初）922,992,000円（税込）
- ・ 工期：令和6年6月28日～令和8年9月30日
- ・ 契約の相手方：九州旅客鉄道株式会社

状況写真

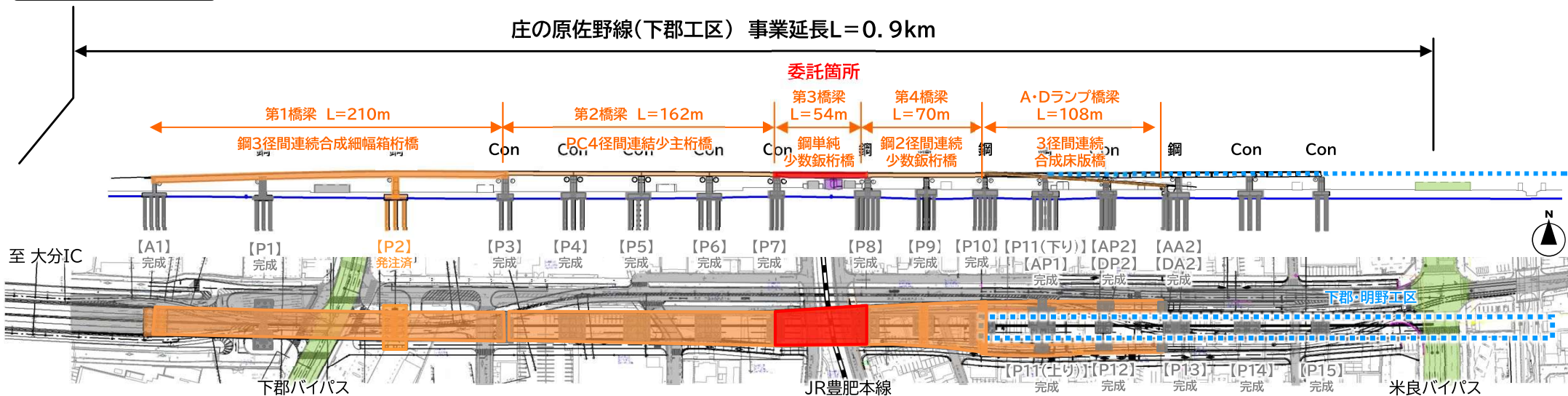


構造図

第3橋梁上部工構造断面図



事業区間全体図



変更内容

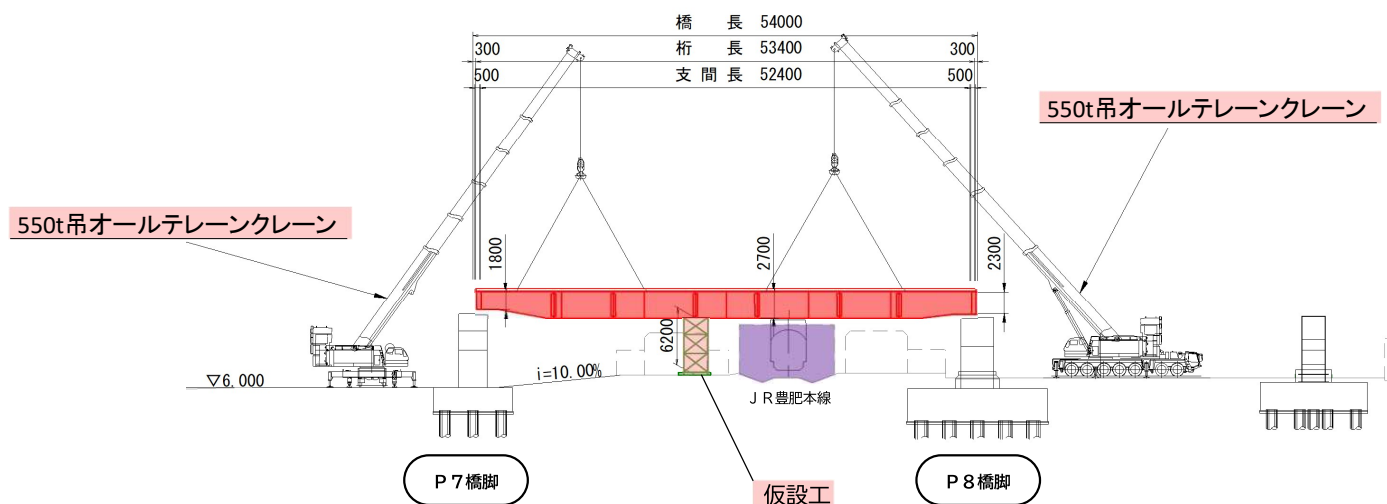
【約2億2千1百万円の減額】

1. 作業時間の変更及び期間短縮による減額・・・【－1億2千6百万円】

橋梁架設で使用するクレーンの分解組立及び仮設工の施工は、列車の運行への影響を考慮し夜間作業としていたが、九州旅客鉄道株式会社と受注者が運行計画を踏まえ施工計画の調整を行った結果、列車の運行に影響を与えることなく昼間作業を行うことが可能となった。これに伴い、作業時間の変更及び期間短縮により、騒音振動対策費等の減額が生じた。

クレーン分解組立・仮設工の施工 ⇒ 夜間作業から昼間作業へ変更

騒音振動対策費・交通規制に要する保安費・照明設備費・労務費・安全費等の減額

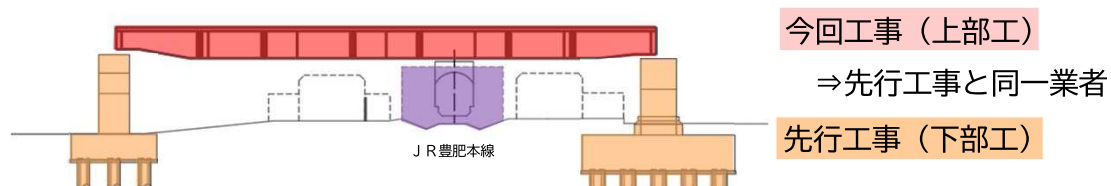


クレーン組立の状況



2. 諸経費の調整による減額・・・【－9千5百万円】

上部工工事の諸経費を単独工事として算出していたが、入札の結果、先行の下部工工事と同一業者が受注したため、九州旅客鉄道株式会社の規定に基づき諸経費を調整した。これに伴い、減額が生じた。



当初 上部工を単独工事として諸経費を算出
↓
変更 上部工と下部工を合算して諸経費を算出

港湾脱炭素化推進計画(案)について

【港湾課】

I 背景

1. 国は、令和2年10月に「2050年カーボンニュートラル」を宣言
2. 令和3年6月「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」
カーボンニュートラルポート(CNP)形成の推進を明記

港湾地域は、CO₂排出量の約6割を占める火力発電所、鉄鋼、化学工業等の多くが立地する産業拠点、エネルギーの一大消費拠点

3. 令和4年12月の改正港湾法において規定
「港湾管理者は、**港湾脱炭素化推進計画を作成することができる**」

計画は重要港湾以上の全国125港湾が対象
▶大分県の対象は、別府港、大分港、津久見港、佐伯港、中津港の5港

4. 令和4年3月に「大分港 港湾脱炭素化推進協議会」を立ち上げ
他4港に先立ち、大分港は令和7年3月に計画策定
▶ **残る4港については、令和8年9月に計画策定予定**

II 港湾脱炭素化推進計画とは

目的

1. 産業の構造転換及び競争力強化への貢献
2. 荷主や船社から選ばれる競争力のある港湾の形成

- ① 次世代エネルギーの輸入や貯蔵等の環境整備
- ② 脱炭素化に配慮した**港湾機能の高度化**
- ③ 集積する**臨海部産業との連携**

温室効果ガス排出
全体としてゼロ

港湾脱炭素化推進協議会(港湾法第50条の3)

・港湾立地企業
・船社・港運業者
・トラック業者 等

連携

・国(地方整備局等)
・地元市町村

次世代エネルギー利用を
検討する企業間の情報交換

大分県

・環境部局・港湾管理者・商工部局

III 港湾脱炭素化推進計画(案)の目標

1. CO₂削減目標
協議会参加企業のCO₂排出量削減の取組状況を勘案した上で、短期・中期・長期の削減目標を設定

港湾	削減目標(2013年度比)		
	短期(2030年度)	中期(2040年度)	長期(2050年度)
別府港	17%	45%	カーボンニュートラル
津久見港	15%	継続協議	
佐伯港	36%	50%	
中津港	48%	73%	
大分港 ※R7.3月策定済	36%	(令和8年度協議会で議論)	

(参考)第6期大分県地球温暖化対策実行計画

大分県	36%	54~67%	カーボンニュートラル
-----	-----	--------	------------

2. 各港湾の特徴と、短期(2030年度)削減目標設定の理由について

別府港	特徴	停泊中の船舶(フェリー、クルーズ船)から排出されるCO ₂ が大半を占める
	理由	船舶から排出されるCO ₂ は化石燃料(重油、LNG)に起因。削減には、CO ₂ を排出しない燃料への転換等の技術革新を伴う取組や、陸上電力供給設備の導入等が必要
津久見港	特徴	セメント製造関係工場等から排出されるCO ₂ が大半を占める
	理由	上記工場等から排出されるCO ₂ の多くはセメント製造過程で原料から発生するCO ₂ である。削減には、発生したCO ₂ 回収等の技術革新を伴う取組が必要
佐伯港	特徴	食料品製造工場等から排出されるCO ₂ が大半を占める
	理由	上記工場等から排出されるCO ₂ の多くは化石燃料(重油)に起因。事業者は、低炭素燃料(重油からLNG)への転換に取り組んでおり、一定の削減は見込まれているが、中長期的にはCO ₂ を排出しない燃料への転換等の技術革新を伴う取組が必要
中津港	特徴	自動車製造工場等から排出されるCO ₂ が大半を占める
	理由	上記工場等から排出されるCO ₂ の多くは購入電力の使用に起因。事業者は、太陽光発電設備等を導入し、購入電力の削減に取り組んでいるため、高い削減が見込まれる

3. 各港湾における中期・長期の削減目標設定について

協議会参加企業等が計画している取組に加えて、将来の構想を見込み、目標を設定。
計画策定後は、協議会を年一回開催し、情報交換やフォローアップを行う。

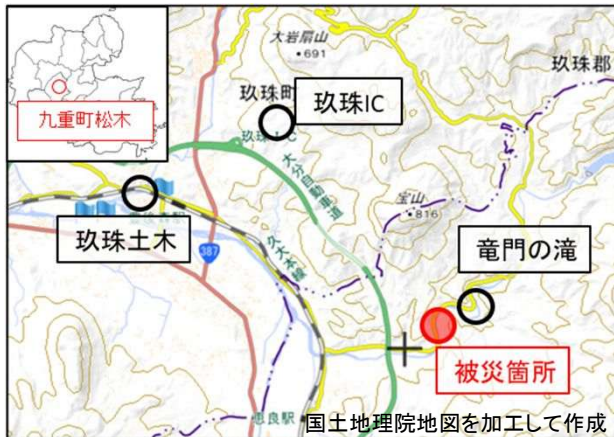
IV 策定までの今後のスケジュール(案)

令和8年7月	パブリックコメント
8月	港湾脱炭素化推進協議会 開催
9月	令和8年第3回定例会 諸般の報告後 公表

九重町松木五分市地区の土砂崩れについて

【砂防課】

位置図(詳細図)



被災概要

発災日時: 令和8年6月17日(水) 19時頃
 ・被災状況: 高さ約30m、幅約10mの土砂が崩落
 ・物的被害: 住家1戸
 ・人的被害: 負傷者1名
 ・公共施設被害: 県道に土砂が流出
 ・被災原因: 調査中

初動状況

令和8年6月17日(水)
 19時05分 住民から県警へ通報
 19時30分 大分県災害対策連絡室を設置
 21時55分 九重町災害対策本部を設置
 22:00分 避難者 9世帯30名
 令和8年6月21日(日)
 16時30分時点 避難者 2世帯10名



高さ
約30m
幅約10m

被災直後(写真②)



避難者家屋

6月18日AM6時撮影

九重町松木五分市地区の土砂崩れについて

【砂防課】

現地での対応状況

